

# 無届け老人ホーム

10人が犠牲になった群馬県渋川市の老人施設「静養ホームたまゆら」の火災(09年3月)をきっかけに、行政が把握していない無届け施設が問題視されるようになった。厚生労働省が火災を受けて実施した全国調査で、無届け有料老人ホーム数(09年4月末時点)は、都道府県別で神奈川県(91施設)が最多だった。県は、各施設に改善を強く指導するが、独自の介護に工夫をこらしてきた施設では、規制と現実のはざまで苦悩もにじむ。専門家は、「利用者のニーズに立った議論を」と呼びかける。

【木村健二・写真も】

「有料老人ホームに該当する施設は届け出てください」。高齢者住宅「みどりの丘」の施設長を務める山崎乃理子さん(49)は、県から届け出の指導を受け続けた。「自分の親を入れたくなるような施設をつくりたい」。そんな理想を掲げ、97年に最初の施設をオープンさせ、現在は7施設を運営する。

たまゆらの火災以降、県の指導が格段に強くなり、昨年8月に6施設について届け出

をし、県の基準に沿うよう総額3000万円を投じてスプリンクラーを整備した。このうち2100万円は後に公費で補助されるが、負担は重かった。

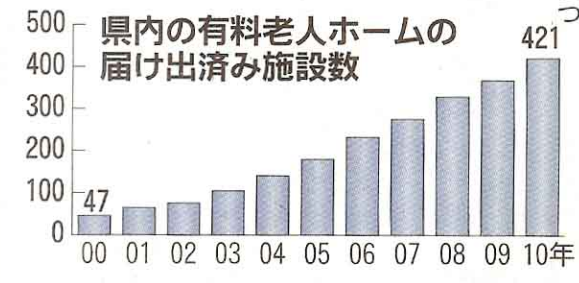
さらに、今年2月に厚木市に新たにオープンした定員19人の施設も、今後、届け出をする方針だ。県の基準では、入居者の快適な生活を保障するため介護居室に13平方メートル以上の広さがなければならぬが、ここは10平方メートル。それでも、入居す



# 規制と現実 悩み深く



「みどりの丘」でくつろぐ入居者たち



以下に罰金を科すと定められる。厚生労働省によると、介護保険制度がスタートした00年は350施設だった。民間業者の参入が相次ぎ、08年は3400施設。施設は多様で、定員は10人未満から数百人規模、入居一時金も100万円未満から2000万円以上という施設もある。

事故防止狙い 実態を調査

## 県が全国最多に

人口の多い大都市圏ほど無届け施設も多くなる傾向にあるとはいえず、神奈川県が全国最多となった要因の一つとして、県は、08年6月に綾瀬市の障害者支援施設で4人が死傷した火災を挙げ、火災をきっかけに市町村の消防当局が同種の施設の把握に努めたからだ。行政側にとっては、事故につながる恐れがあれば、野放しにはできない。県の指導で、無届け施設は今年2月には50施設にまで減っている。県高齢施設課

「ほとんど広い共用部で過ごすので、不目由はしていない」と意を減らす。一年金だけで居室を広くすれば利用料にはね返り、定員も減る。「年金だけで暮らせる施設」が、みどりの丘のモットー。山崎さんは「介護するのは人であって建物で悩むも暮る。」

「高年齢者の介護問題に取り組む市民団体」となりのかいご(伊勢原市)代表で社会福祉士の川内潤さんは「介護事業者、行政、さらに介護家族のニーズではなく、介護サービスを利用する本人のニーズから議論がスタートすることを期待したい。まだまだ置き去りにされているニーズはたくさんある。利用者に寄り添った介護サービスが増えしてほしい」と訴えている。

都道府県別無届け老人ホーム数	数
①神奈川県	91
②東京都	48
③千葉県	41
④群馬県	31
⑤沖縄県	20
⑥愛媛県	18
⑦北海道	16
//栃木県	16
//岡山県	16
⑩岐阜県	15
//三重県	15
⑫愛知県	12
//福岡県	12
⑭兵庫県	11
//鹿児島県	11
⑯佐賀県	9
⑰秋田県	8
//茨城県	8
⑲青森県	7
//静岡県	7
⑳大阪府	6
㉑奈良県	5
㉒京都府	3
//高知県	3
//長崎県	3
//大分県	3
㉗山梨県	2
//和歌山県	2
//香川県	2
㉙岩手県	1
//宮城県	1
//鳥取県	1
//島根県	1
//宮崎県	1
㉝山形県	0
//福島県	0
//埼玉県	0
//新潟県	0
//富山県	0
//石川県	0
//福井県	0